

案1 (第5回委員会資料の骨子案に記載したもの)

「国内外でムダ、ムラ、ムリのない全体最適な物流の実現」

- － 荷主、物流事業者、行政、国民各層の連携・協働による、国内外全体での物流効率化が重要であることを強調したもの。

案2

「国内外でムリ・ムダ・ムラのない全体最適な物流への挑戦」

- － 案1と同趣旨。「実現」を「挑戦」と言い換え、今後目指すべき方向性であることを強調したもの。

案3

**「国際・国内ともに無理なく、無駄なく、調和のとれた物流システムの
実現」**

- － 案1と同趣旨。「ムダ、ムラ、ムリ」と「全体最適」を別の言葉で言い換えようとしたもの。

(参考)「ムリ・ムダ・ムラ」の意味

- － ムリとは負荷が能力を上回っている状況、ムダとは逆に負荷が能力を下回っている状況、ムラはムリとムダの両方が混在して時間によって表れる状況を指す。

(出典：グロービスのMBA経営辞書 <http://www.globis.jp/mw664>)